

●世界の主な地震

平成 22 年（2010 年）5 月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布を図 1 に示す。また、その震源要素等を表 1 に示す。

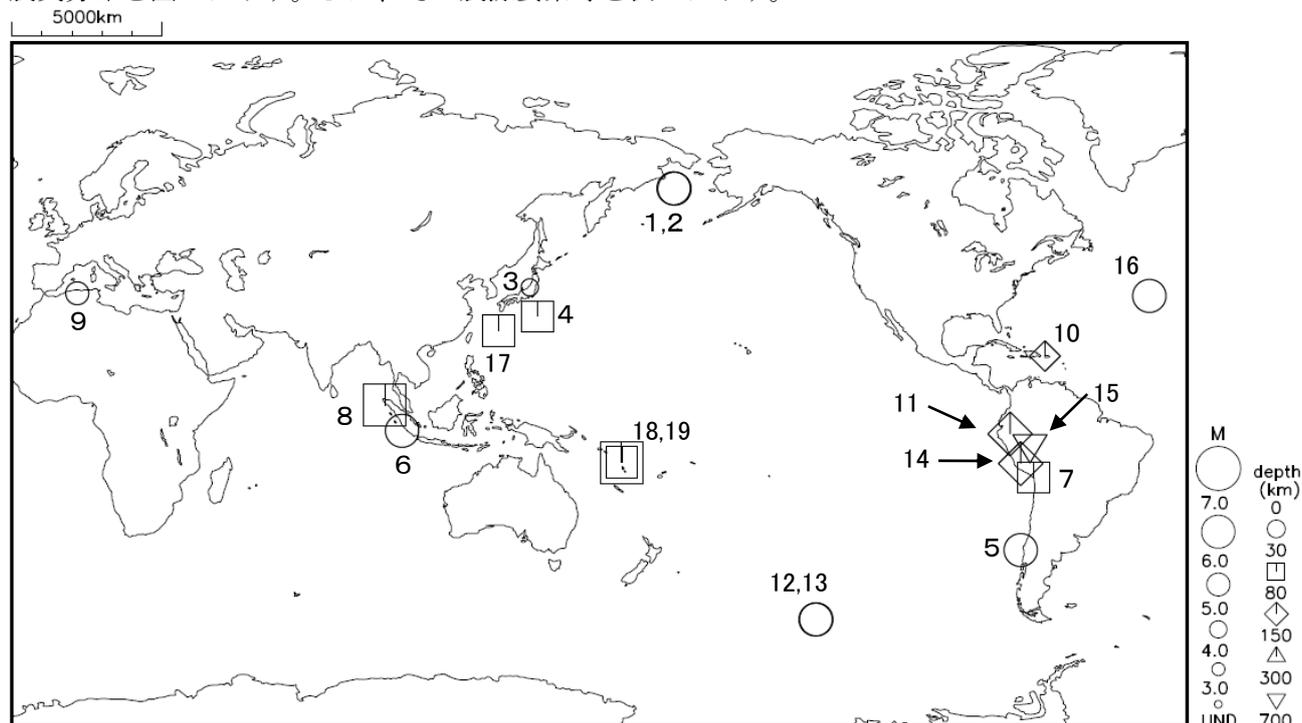


図 1 平成 22 年（2010 年）5 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布

* : 震源要素は米国地質調査所(USGS)発表の QUICK EPICENTER DETERMINATIONS(QED)による。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素及びマグニチュードは気象庁による。

** : 数字は、表 1 の番号に対応する。

*** : マグニチュードは表 1 の mb (実体波マグニチュード)、Ms (表面波マグニチュード)、Mw (モーメントマグニチュード) のいずれか大きい値を用いて表示している。

表 1 平成 22 年（2010 年）5 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Ms	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北西	印洋	遠地
1	05月01日08時11分	N60° 30.6'	W177° 53.8'	17	6.0		6.5	ベーリング海				
2	05月01日08時16分	N60° 25.7'	W177° 36.6'	14	6.0		6.3	ベーリング海				
3	05月01日18時20分	N37° 33.5'	E139° 11.4'	9	4.9	(4.9)		新潟県中越地方	負傷者1人			
4	05月03日19時27分	N29° 43.6'	E141° 29.4'	65		(6.1)	(6.1)	鳥島近海				
5	05月04日08時09分	S38° 16.2'	W 74° 18.5'	23	5.8	5.9	6.3	チリ中部沖				
6	05月06日01時29分	S 4° 03.3'	E101° 05.7'	27	5.9	6.6	6.6	インドネシア、スマトラ南部			○	
7	05月06日11時42分	S18° 03.3'	W 70° 32.9'	37	6.7	5.9	6.2	チリ北部沿岸	負傷者11人、建物被害数棟、公共設備に被害、地すべり			
8	05月09日14時59分	N 3° 45.0'	E 96° 02.0'	45	6.7	7.3	(7.2)	インドネシア、スマトラ北部	シムルー島で被害報告		○	○
9	05月14日21時29分	N35° 59.8'	E 4° 09.7'	10	5.2			アルジェリア北部	死者2人、負傷者43人			
10	05月16日14時16分	N18° 24.0'	W 67° 04.2'	113	5.4		5.8	モナ海峡	住家被害、地すべり			
11	05月19日13時15分	S 5° 01.1'	W 77° 29.7'	138	6.0		6.0	ペルー北部				
12	05月19日19時30分	S54° 48.8'	W135° 18.3'	10	5.4	5.7	6.0	太平洋-南極海嶺				
13	05月19日19時51分	S54° 51.7'	W135° 32.2'	10	5.4	5.8	6.0	太平洋-南極海嶺				
14	05月24日07時46分	S13° 55.2'	W 74° 19.5'	95			6.1	ペルー中部				
15	05月25日01時18分	S 8° 04.6'	W 71° 32.8'	583	6.0		6.5	ブラジル西部				
16	05月25日19時09分	N35° 18.0'	W 35° 54.3'	10	5.5	5.5	6.3	大西洋中央海嶺北部				
17	05月26日17時53分	N25° 44.5'	E129° 59.3'	48		(6.4)	(6.6)	南大東島近海				
18	05月28日02時14分	S13° 40.1'	E166° 34.6'	31			(7.2)	バヌアツ諸島		○		○
19	05月28日05時48分	S13° 37.8'	E166° 40.2'	35			6.4	バヌアツ諸島				

・震源要素、被害状況等は米国地質調査所(USGS)発表の QUICK EPICENTER DETERMINATIONS(QED)による（平成 22 年 6 月 7 日現在）。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素及びマグニチュード（Ms の欄に括弧を付して記載）は気象庁に、被害状況は総務省消防庁に、Mw の欄に括弧つきで記されている地震のモーメントマグニチュードは気象庁による。

・震源時は日本時間 [日本時間=協定世界時+9時間] である。

・「北西」、「印洋」各欄の○印はそれぞれ、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報（NWPTA）、及び、インド洋沿岸諸国に暫定提供しているインド洋津波監視情報（TWI）（地震・火山月報（防災編）2005 年 5 月号参照）を発表したことを表す。

・「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。

5月9日 インドネシア、スマトラ北部の地震

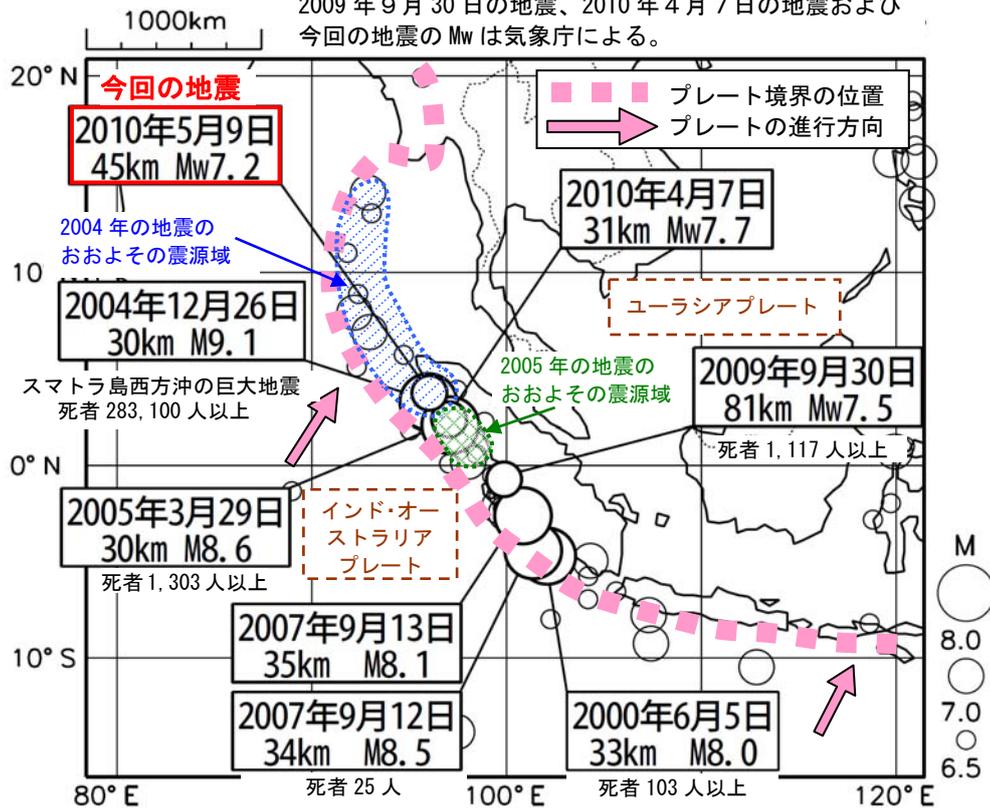
2010年5月9日14時59分（日本時間）にMw7.2（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）の地震が発生した。この地震の発震機構（気象庁によるCMT解）は北東-南西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、この地震は2004年12月26日の地震（M9.1）の震源域で発生した。インドネシアのシムルー島では、軽微な被害や停電の発生が報告されている（米国地質調査所の資料より引用）。

気象庁は、同日15時18分に「インド洋津波監視情報」を発表し、15時25分に「遠地地震に関する情報」を発表した。

この地震は、ユーラシアプレートとスマトラ島の地下に沈み込むインド・オーストラリアプレートの境界で発生した地震で、今回の地震の震源周辺ではM7.0を超えるプレート境界型の地震が度々発生している。

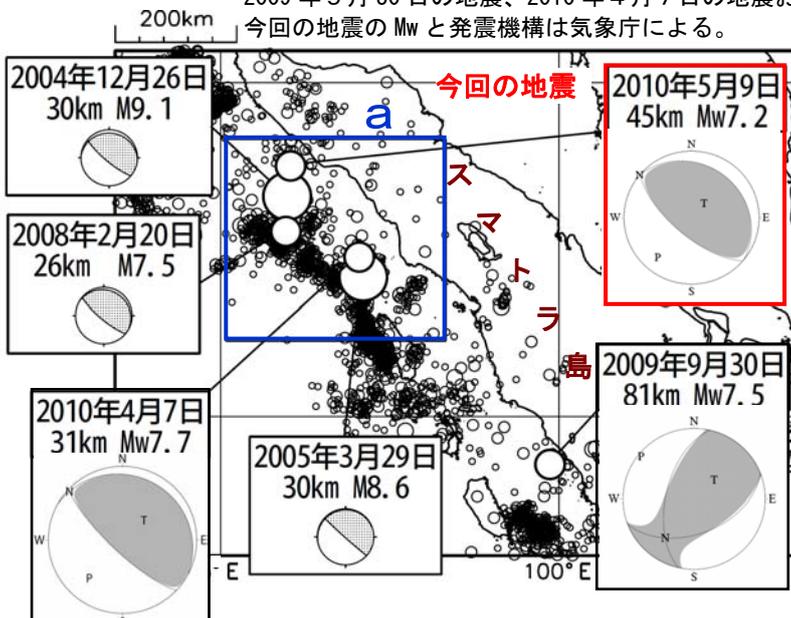
震央分布図（1980年1月1日～2010年5月31日、深さ0～100km、M≥6.5）

※ 震源要素、被害は米国地質調査所(USGS)による。
2009年9月30日の地震、2010年4月7日の地震および今回の地震のMwは気象庁による。

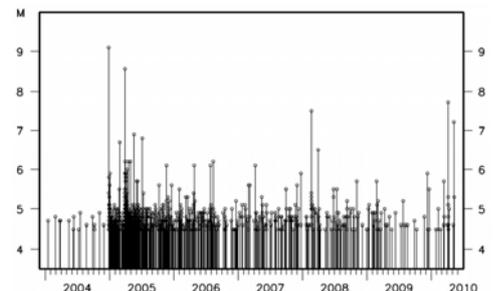


震央分布図（2004年1月1日～2010年5月31日、深さ0～100km、M≥4.5）

※ 震源要素と発震機構は米国地質調査所(USGS)による。
2009年9月30日の地震、2010年4月7日の地震および今回の地震のMwと発震機構は気象庁による。



領域a内の地震活動経過図



注) 2009年9月30日の地震はインド・オーストラリアプレート内部の地震

5月28日 バヌアツ諸島の地震

2010年5月28日02時14分（日本時間）、バヌアツ諸島でMw7.2（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）の地震が発生した。この地震の発震機構（気象庁CMT解）は東北東-西南西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートとインド-オーストラリアプレートのプレート境界で発生した。

気象庁は、同日02時35分に「北西太平洋津波情報」を、02時43分に「遠地地震に関する情報」を発表した。

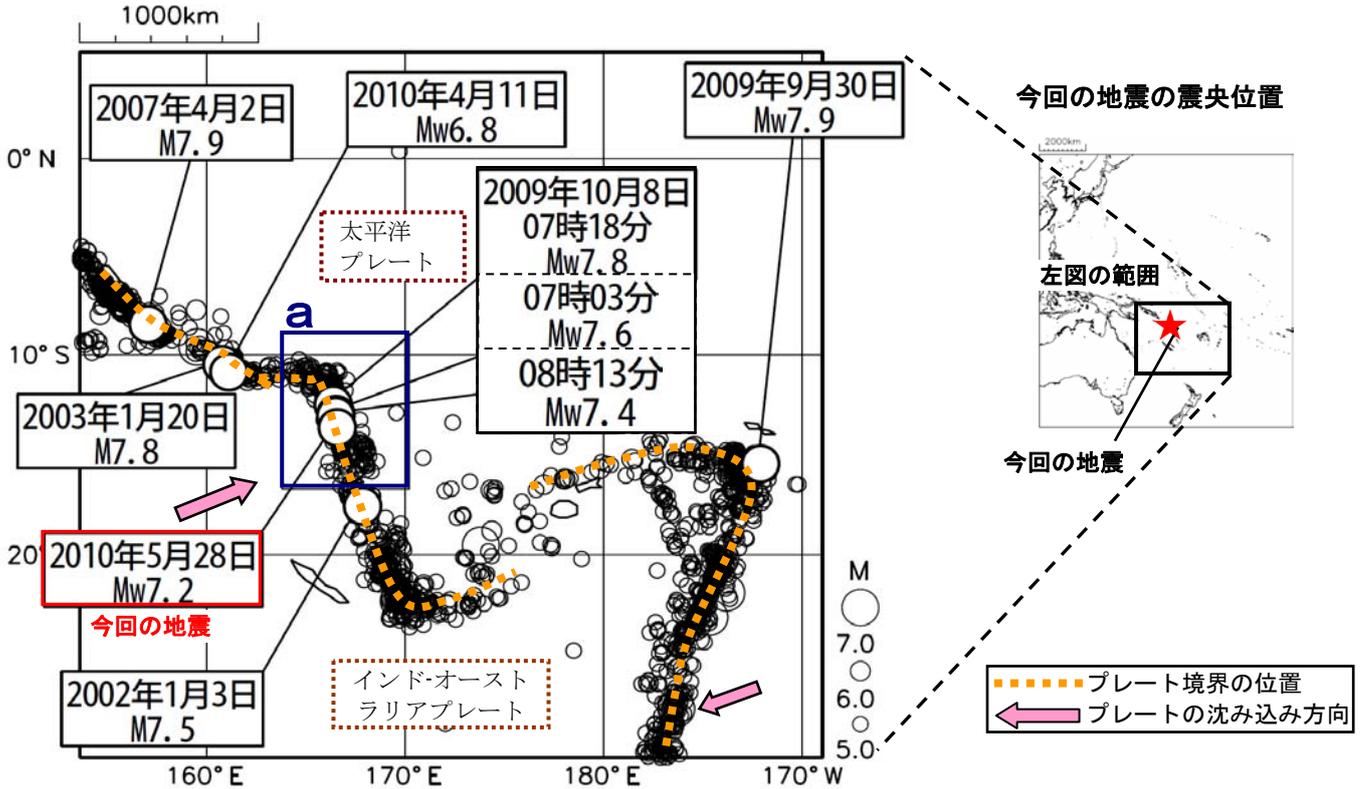
今回の地震の震源周辺では、M7クラスの地震が度々発生している。

震央分布図（2000年1月1日～2010年5月31日、
深さ100km以浅、M≥5.0）

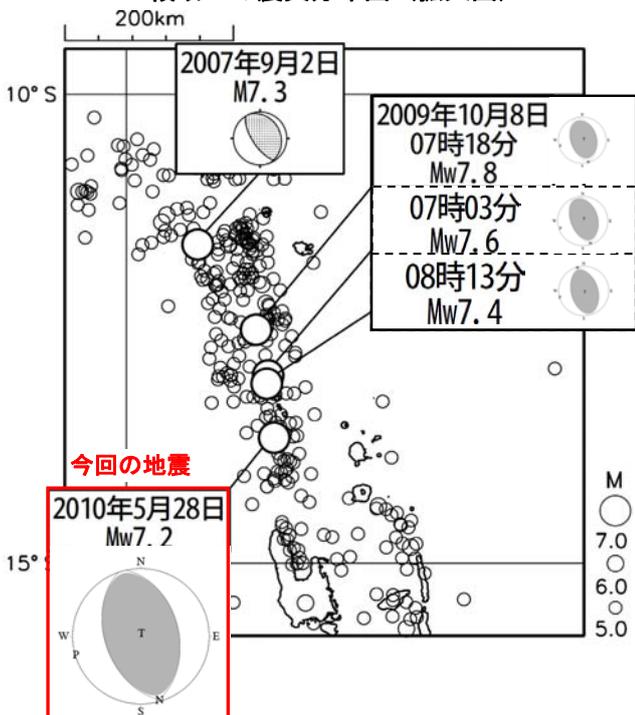
※ 震源要素は米国地質調査所による。

ただし、今回の地震及び2009年9月30日、10月8日、

2010年4月11日の地震のマグニチュード（Mw）及び発震機構は気象庁による。



領域 a の震央分布図（拡大図）



領域 a 内の地震活動経過図

